

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 誰もが健康でいられるまちづくりとは （30分）</p> <p>第6次鶴ヶ島市総合計画の中に重点戦略として、「いつまでも健康でいられるまちづくり」があります。健康で長生きすることは誰もが思う共通の願いです。しかし、新型コロナウイルス感染症が人々の生命を脅かし、通常的生活を奪いました。外に出て人と交流することが難しくなり、地域の行事も減少して運動する機会も大きく減りました。このことが健康に及ぼす影響が心配されます。本市は平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とした「第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（健康つるがしま21）」を策定し、健康づくりに取り組んできました。令和3年には後期計画が策定され、更なる健康づくりに取り組まれることと思います。こうしたことから本市の健康づくりの取組についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 健康づくり・食育推進の取組について (2) 後期計画の新たな取組について (3) ここまでで見てきた課題と今後の取組について</p>	市長
<p>2 がん教育の現状と課題について （10分）</p> <p>厚生労働省が策定した第3期がん対策推進基本計画には、がん教育・がんに関する知識の普及啓発の項目で、「健康については、子どもの頃から教育を受けることが重要であり、子どもが健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深めることが大切である。これらをより一層効果的なものとするため、医師やがん患者・経験者等の外部講師を活用し、子どもに、がんの正しい知識やがん患者・経験者の声を伝えることが重要である。」と示されています。今や国民の2人に1人が一生のうちにがんに罹患すると言われていた状況を踏まえると、学校における健康教育において、がん教育を推進することは意義のあることです。これらのことを踏まえて市内の学校におけるがん教育の現状と課題についてお伺いいたします。</p> <p>(1) がん教育の実施状況や内容について (2) がん教育の課題と今後の取組について</p>	市長 教育委員会教育長